

東京消防庁

TOKYO FIRE DEPARTMENT

2019年度採用試験日程

試験(選考)区分	第1次試験(選考)		第1次合格発表日	試験(選考)地	第2次試験(選考)		最終合格発表日
	試験(選考)地	試験(選考)日			試験(選考)日		
					身体・体力検査	口述試験	
専門系	東京	5月12日(日)	6月12日(水)	東京	6月26日(水) (集団討論も実施)	6月27日(木)	8月7日(水)
I類 1回目	東京 大阪 福岡	5月26日(日)	6月19日(水)		7月1日(月)から 7月5日(金)までの いずれか指定する日	7月8日(月)から 7月12日(金)までの いずれか指定する日	8月9日(金)
I類 2回目	東京	8月25日(日)	9月20日(金)		10月7日(月)、 10月8日(火)の いずれか指定する日	10月9日(水)から 10月11日(金)までの いずれか指定する日	11月26日(火)
II類	東京	8月25日(日)	9月20日(金)	東京	11月12日(火)、 11月13日(水)の いずれか指定する日	11月14日(木)、 11月15日(金)の いずれか指定する日	12月12日(木)
III類	東京 札幌・秋田 盛岡・郡山 大阪・福岡 長崎・鹿児島	9月7日(土)	10月3日(木)	盛岡 大阪 福岡	10月23日(水)から10月25日(金)まで及び、 10月29日(火)から10月31日(木)までの いずれか指定する日		12月12日(木)
I類 事務	東京	5月5日(日)	6月3日(月)	東京	6月18日(火)		7月26日(金)
III類 事務		9月8日(日)	10月3日(木)		10月15日(火)		11月26日(火)
III類事務 (障害者)							

注1 消防吏員(専門系)は選考によります。
注2 詳細は東京消防庁ホームページ又は採用試験(選考)案内をご確認ください。

人事部人事課採用係

採用フリーダイヤル：0120-119-882 (平日の午前8時30分から午後5時15分まで)

TEL：03-3212-2111(代表)

〒100-8119 東京都千代田区大手町1-3-5

東京消防庁ホームページ <http://www.tfd.metro.tokyo.jp>

東京消防庁Twitter http://twitter.com/Tokyo_Fire_D

東京消防庁Facebook <http://www.facebook.com/TokyoFireDepartment>



東京消防庁の業務内容や採用試験、業務説明会についての情報を、東京消防庁ホームページ<採用案内>の「東京消防庁採用情報サイト」で公開しています。

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。
石油系塗料を含まないインキを使用しています。



CHALLENGERS
～守るために、挑み続ける～



東京消防庁

2019年度募集案内

CHALLENGERS

～守るために、挑み続ける～

私たち東京消防庁の使命は

世界有数の巨大都市「東京」に暮らす人、働く人、訪れる人の生命、身体及び財産をあらゆる災害から守ること

私たちの業務は

消火活動、救助活動、救急活動などの人命救助のための業務、火災や災害などによる被害を未然に防ぐ、または最小限にするための業務

これらの業務に終わりはない

常に変化する人や街の状況を捉え続ける
最善策を考え続ける
その策を打ち続ける
また、それに耐え得るための心身を作り続ける

私たちは、今日も挑み続ける

グローバル化と成長を続ける首都「東京」に暮らす人、働く人、訪れる人の「当たり前の日常」と「未来」を守るため
そして、先人たちの築き上げた「伝統」を守るため

Contents

隊の仕事	04	勤務体制・人事制度	18
係の仕事	07	消防学校ってどんなところ？	20
本庁の仕事	09	消防学校学生インタビュー	22
東京消防庁で働く様々な人たち	10	研修制度	24
先輩たちのONとOFF	14	給与・福利厚生等	26
東京消防庁の主な業務	16	東京消防庁の組織	28
		募集要項	30

TOKYO 2020開催に向けて

東京消防庁では、来る2020年に東京で開催されるオリンピック・パラリンピックを成功へ導くため、あらゆる事態を想定した万全な対策を講じる準備を進めています。私たちの最大のミッションは「大会開催地の消防機関として、安全・安心な大会開催環境を提供する」こと。そのために、

- 1 防火安全対策の推進**

消防立入検査等を通じ、宿泊施設やターミナル駅等、観光客が利用する施設の防火安全性を確保するとともに、大会関連施設における防火安全上必要な措置や大会期間中の適正な防火管理体制の構築などの各種防火安全対策を推進する。
- 2 消防特別警戒体制の確立**

あらゆる災害等に対する即応態勢を強化するため、大規模な消防特別警戒の体制を構築し、必要な車両・資器材を整備するとともに、関係機関との強固な連携体制を確立する。

などを実施しています。大会開催期間中は国内のみならず、海外からも多数の人々が東京に足を運びます。そのため、多言語対応などコミュニケーション面での対策も求められます。東京を訪れる全ての国民及び外国人が、平和の祭典である東京2020大会を安全に安心して楽しむことができるように、私たちは東京都の一員として万全な対策を推進していきます。

助ける

隊の仕事

キャリアステップ

ポンプ隊員

特別消火中隊員

ポンプ隊

1つとして
同じ災害はない
日頃の訓練で
対応力を磨く

消防署 特別消火中隊 2014年入庁
九州地方出身

ポンプ隊は、多くの方がイメージする火災現場での消火・救助活動の他にも、救急隊と連携した救急活動（PA連携）や、NBC災害（放射性物質、化学物質、病原菌及びウイルスに関する災害）の初期対応など、幅広い災害対応を担っています。1つの隊（小隊）は基本的に隊長・隊員・機関員で構成され、そのうち1名はポンプ車の運転や送水の作業などを担う機関員です。機関員には特別な知識や技術が必要でポンプ機関員になるにはポンプ機関技術の認定が必要です。私も1年前、大型自動車運転免許の取得とともにポンプ機関技術の認定を受けました。また、ポンプ隊で一定の経験を積み、火災現場での活動に習熟した隊員だけを集めた「特別消火中隊」という隊もあり、私は2年前からこの隊に所属しています。

通っていた中学校の近くに消防署があり、日々の真剣な訓練の様子などを見るうちに「自分もあの消防官たちのように人を助ける仕事がしたい」と思うようになって消防官を目指しました。だからこそ今、願っていた仕事に就けたことに満足感を感じています。その一方で、実際にポンプ隊の一員になって知った難しさは、「同じ災害現場はない」こと。日頃から様々な状況を想定して訓練を重ねていますが、訓練そのままの動きで通用する現場はありません。ただ、日頃の努力が自信につながるの間違いなく、その上で「自分で考え」「柔軟に対応する」ことが大切だと考えています。現場での活動には、隊長の指揮のもと各隊員が阿吽の呼吸で、スムーズに連動するチームワークが不可欠であるため日々訓練に励んでいます。



救急隊

人命救助の
現場と向き合い
救急隊は優しく強く
自分を磨く

消防署 救急隊 2008年入庁
近畿地方出身

キャリアステップ

ポンプ隊員

ポンプ隊員兼救急隊員

指令管制員

ポンプ隊員兼救急隊員

救急隊員

「自宅トイレ内での出産」——。当時ポンプ隊員だった私が、ポンプ隊と救急隊と一緒に活動するPA連携の現場で一番乗りしたのは、そんな衝撃的な現場でした。救急隊の現実の厳しさを知り、彼らの優しい人柄や精神力の強さはどうやって育まれるのだろうと憧れ、私も救急の道を選びました。救急要請を受けたら、どんな現場でも純粋に困っている人に全力で手を差し伸べるのが私たちの役目です。人命救助のためには事件・事故の様々な場面で冷静に対応できる術を身につけなければなりません。場数を踏み成長するほど、救急隊員が優しく強い理由を自らも体現してきたと思っています。

現在、救急救命士として活動していますが、私は入庁後に救急救命士の資格を取得しました。入庁前に大学等で救急救命士の資格を取得することもできますが、ポンプ隊員等を経験してから救急の道を選択し、必要な実務経験を経て救急救命士になることは、現場で処置できる幅が広がっていく実感があり、自信につながります。また、語学が得意なため、外国人の救急対応では頼りにされることがありやりがいを感じています。今後は英語対応救急隊を先導する立場で救急救命士の処置拡大や語学のスキルアップに挑戦していきたいと思っています。

特別救助隊

困難な現場に
限界まで挑み続けたい
助けを待つ
誰かのために

消防署 特別救助隊 2011年入庁
九州地方出身



キャリアステップ

ポンプ隊員

はしご隊員

特別救助隊員

災害現場の最前線で、助けを待つ誰かのために全力を注ぐ。特別救助隊はとくに「困難性が高い」と判断される災害現場に出場します。私たちにしか助けられない命がある。その重みこそ特別救助隊の原動力です。以前、5センチ先も見えない緊迫した火災現場で、見落としそうになった要救助者を発見し救出した経験があります。この経験を糧として、確認を怠らないことを学び、いつ起こるか分からない事故や災害に備え、人命救助の現場で限界まで自分の力を出し切るため、日々、体力錬成や訓練に取り組んでいます。また、特別救助隊は入庁後、選抜試験で選ばれた隊員からなる精鋭部隊です。庁内でも狭き門といわれ、研修は体力、知力だけでなく精神力も問われ

る厳しい内容でした。私は自分の逃げ道を断つため「特別救助隊員になりたい」と公言し、努力するしかない環境をあえて作りました。仲間の支えや上司の指導を受け選抜試験に合格することができ、厳しい研修でしたが無事に修了し、特別救助隊として勤務できる「特別救助技術」を認定されました。もともとは少年野球の監督が消防官だったことが私の原点です。その厳しくも温かい人間性に憧れ入庁しました。その後は特別救助隊の先輩たちになりたい自分像を重ね合わせ、いつか「一緒に働きたい」と信頼される隊員になることが今の目標です。これからも努力を重ねた分だけ誰かの危機を救うと信じ、ひたむきに前進し続けます。

防ぐ

係の仕事



キャリアステップ

ポンプ隊員

予防係員

ポンプ小隊長

予防係員

予防係

建物一つ一つの
安全を確認し
街全体の安全・安心に
繋げる

消防署 予防係 2013年入庁
東北地方出身

私が所属する予防係では、管内で建てられる建物に対して防火上の問題がないかを審査し、必要に応じて是正指導する役割を担っています。建物ごとの防火安全対策を確実にすることが、街全体の安全・安心に繋がります。この仕事の基本は、設計会社などから提出された資料に目を通し、法令に則っているかを確認することです。消防法や建築基準法など新たに触れる法令が多いのは確かですが、大学の法学部で身につけた「法律を読む際のルール」が大いに役立っていると感じています。私は東北地方出身で、東日本大震災の救助支援で福島に派遣されたハイパーレスキュー隊の総括隊長が東北地方出身の方だと知り、自分も同じような活躍がしたいと憧れて

東京消防庁に入庁しました。ところが、入庁後の消防学校時代にレスキュー隊長の経験もある教官が「長年救助の現場で活動してきたが、最も大事なものは予防だ」という一言に心を動かされ、予防業務に携わりたいと目標を変えました。望みが叶って予防業務に多く携わる中、建物一つ一つの安全を確認することが、街全体の安全・安心に繋がるのだと、当時の教官の言葉をあらためて実感しています。今後は「予防業務のスペシャリストになること」が私の目標で、予防業務全般に対応できる消防官になりたいと思っています。そのために、庁内の技術認定を受けることはもちろん、消防設備士や危険物取扱者などの公的な資格に挑戦していきます。

防災安全係

防災は自助・共助が大切
助け合う街をつくる
知識の普及

消防署 防災安全係 2009年入庁
関東地方出身



キャリアステップ

ポンプ隊員

防災安全係員

「もし東京で大地震が起こったら」。首都直下地震が危惧される今、いつ起きるか分からない地震や自然災害に備え、自分の身を守り、そして他の誰かを助けられるよう、都民の皆さんに自助・共助の知識を身につけてもらうのが防災の仕事です。

具体的には防災訓練や講話、消防団の指導や子どもたちへの防災教育など業務は多岐にわたります。幅広い年齢層や立場に応じて、「できることを教える」ことがとても重要です。子どもたちにはまず安全に避難して、大人を呼んでくれることを。大人には自分の身を守り、さらに他人を助ける術を。皆さんに寄り添い、困ったときに本当に必要な知識を提供することを心がけています。

たとえば、消火器の使い方を正しく知らない方はまだ大勢います。一度でも防災訓練や講話で知識を得た方とそうでない方とは、実際の訓練でも標的に水が当たる時間に大きな差が生じてしまうほどです。やはり「知識は力なり」であると実感しますし、「知っているよ」の声を聞くことが増えるたび、喜びを感じます。

私は消防官の父の背中を追って入庁しました。さまざまな研修やキャリア制度があり、女性であっても様々なことにチャレンジできることから、今後ポンプ機関員として、さらに防災のスペシャリストとしても活躍していきたいです。

高めめる

本庁の仕事

キャリアステップ

ポンプ隊員

救急隊員

ポンプ小隊長
総務課兼務職員

総務課国際業務係

査察係主任

総務課国際業務係



総務課 国際業務係

消防に「国境」なし
日本の防災知識や技術を
世界に発信する

総務部 総務課 2004年入庁
関東地方出身

「消防に国境はない」。それを強く実感できるのが国際業務です。日本は災害の多い国です。その首都・東京の防災機関として東京消防庁への海外消防機関の関心は高く、毎年多くの国の方々が東京消防庁を訪問しています。また、海外の消防機関との知見の共有を目的として、当庁職員が消防関係者の国際会議に参加することもあります。私は国際業務係員として、外国人訪問者の対応や国際会議での通訳などを担当しています。当庁の知識・技術を海外に伝え、世界の消防の発展に貢献してきたことは私の誇りであると同時に、海外に同じ志を持つ仲間ができた大きな喜びを感じています。また、在京外国人の安全・安心のために大使館を通じて防災に関する情報

を発信する事業や、消防学校での英語や国際化に関する講義なども担当しています。得意な英語を活かせる業務があることは、入庁前には想像もしていませんでしたが、各消防署にも英語の堪能な人材が多数おり、国際都市・東京の防災機関として、英語を活用する機会は数多くあります。私は前職で病院の事務職員をしており、東京消防庁の救急隊の活躍を見て、「自分も直接人を救いたい」と思い転職しました。その後、ポンプ隊、救急隊、防災業務、火災予防業務、そして国際業務と幅広い業務に従事していますが、そのフィールドの広さは東京消防庁の大きな魅力であると思っています。



多様化する災害に
対応するためには、
幅広い知識や知恵の
集結が不可欠です。

理系

建築

消防同意事務／建物検査／
火災予防査察／
消防庁舎の設計・
施工監理 など

理系

電気

消防同意事務／建物検査／
電気設備の保守管理／
火災調査 など

理系

電子・通信

情報通信体制の整備／
総合情報処理システムの整備／
ICT関連業務 など

理系

化学

危険物規制／火災調査／
NBC災害対策／
化学機動中隊員 など

理系

物理

火災性状・
燃焼現象の検証／
特殊災害の防除に関する
技術改良・検証 など

理系

土木

防火水槽等の設計・
強度計算・施工管理／
河川等による消防水利
確保方策の検討 など

理系

機械

消防用設備等に関する審査・
技術指導／火災調査／
消防装備・車両の改良 など

理系

自動車・航空・船舶

消防車両等の点検・整備／
消防車両等の性能・機能・
デザイン等の検討、
仕様作成 など

理系

救急救命・看護

救命講習等の推進／
患者等搬送事業に対する
指導、助言／
救急相談センター など

文系

法律

法務／消防同意事務／
火災予防査察／危険物規制
など

文系

行政

行政管理・運営／
長期計画・実施計画の
立案 など

文系

環境・防災

都民生活の安全確保／
震災対策／消防団 など

文系

教育

総合防災教育の実施／
消防学校教官 など

文系

保健・体育

消防官のトレーニング
方法の考案／
職員の健康維持・
増進の施策 など

文系

外国語

海外消防機関との情報交換／
海外からの研修・視察への対応
／英語対応救急隊 など

文系

マスメディア・文学

広報業務の推進／
各種情報の収集・発信 など

文系

商学・経済・経営

消防予算の運用／
給与関係事務／
契約関係事務 など

文系

音楽

消防音楽隊／
カラーガード隊 など

文系

福祉

地域社会の
相互扶助体制の構築／
地域の安全対策推進 など

東京消防庁で働く 様々な人たち

東京消防庁には多種多様な業務があり、
そこで活かせる知識や経験、個性もさまざま。
一見すると消防の仕事とは関係無さそうに
思えるものでも、実は強固な組織づくりに
役立っているのです。
ぜひ“あなたらしさ”を、東京の安全・安心
を守る力に変えてください。



総務部 施設課 2014年入庁 近畿地方出身

建築の知識を活かして 施設の設計などを担当

消防庁舎など東京消防庁が持つ様々な施設。
施設の建替や改修において、
「建築」の専門性を備えた人材が活躍しています。

大学院で建築学を専攻していました。入庁後はポンプ隊員や消防署
の予防課員を経験し、現在は施設課で消防庁舎などの設計および
監理業務を担当しています。東京消防庁には81の消防署や200を
超える分署・出張所があり、老朽化した施設の建替や新設が順次行
われています。毎年、複数の消防庁舎を造っているため、私も異動後
すぐに出張所の建替案件を任せられ、建物の設計から施工監理、竣工
までの一連の業務を担当しています。担当者として、施設に自分の経験
や考えを反映できるのが大きな魅力です。学生時代に居住空間の快
適性を研究テーマにしていたこともあり、職員が快適に過ごせる庁舎
づくりを意識しながら取り組んでいます。

土木の知識を活かして 消防水利を整備

活用しやすい消防水利を整備し、
消火活動を支えています。

いつ起こるか分からない火災。その備えとして都内の至るところに整
備されているのが防火水槽、消火栓などの消防水利です。私は水利
課の設計監理係で新たな防火水槽や深井戸を整備するための設
計・工事監理を担当しています。防火水槽は公園などの地下に穴を
掘り、大きなもので直径6メートルもある水槽を埋め込む工事が必要
です。私はポンプ機関員の経験と大学で学んだ土木の知識があり、
「より活用しやすい消防水利を設置したい」との想いで勤務しています。
現場調査や設計・積算などの経験は全くありませんでしたが、新たな
専門スキルを身につけることができました。設計・施工というカタチに
残る仕事ができるのも非常に面白く感じています。



防災部 水利課 2012年入庁 近畿地方出身

消防官への憧れが 忘れられず転職を決意

火災や救助などの第一線に出ることもあれば、防災に係る業務や機関誌の監修を担うことも。経験できる業務の幅広さも東京消防庁の特色。

国際貨物会社で4年ほど法人営業を経験して、東京消防庁に転職しました。もともと人命救助の第一線で働く消防官に憧れていたのですが、民間企業と公務員で悩んだ結果、民間企業に就職しました。しかし社会人になっても消防官への憧れは薄れることがなく、25歳を迎えるのを機に転職を決意しました。入庁してあらためて知った東京消防庁の魅力は業務の幅が広いことです。ポンプ隊の活動はイメージ通りだったものの、防災に係る業務や、機関誌の監修など、入庁から5年間で多彩な経験をしてきました。そして現在はポンプ隊の小隊長として従事しています。出場時はもちろん訓練でも特別な緊張感を持って取り組むこの環境が、自分の天職であると日々感じています。



消防署 ポンプ小隊長 2013年入庁 関東地方出身



消防署 特別操作機関員 2010年入庁 近畿地方出身

女性消防官として 災害現場で活躍

消防自動車を運転し災害現場に急行。機関員は技術と知識を武器に活躍できます。

私は消防車の運転やしご車の操作を行うことができる特別操作機関員として勤務しています。体方面では男性に勝てなくても、車の運転やしごの操作技術では負けません。安全運転でいち早く現場に到着して、はしごを伸ばし、高層ビルでの消火や救助に向かう隊員を支えること、知識と技術を駆使して、女性でも活躍できる特別操作機関員の業務には大きなやりがいがあります。消防の業務は「女性だから」という特別扱いはほとんどありません。だからこそ性別に関係なく自分の希望する職務に挑戦できるのです。結婚や子育てとの両立、その前例をつくってきた先輩女性消防官の皆さんは本当に尊敬できる憧れの存在です。（※女性消防官は毒劇物等に係る特殊な災害活動業務への従事制限があります。）



装備部 航空隊 2007年入庁 関東地方出身

特別救助隊員を目指し 高校卒業後すぐに入庁

1日も早く災害現場で活動したいと、高校卒業後、迷うことなく入庁しました。入庁後、新たな目標を見つけました。

最新の技術や装備を備えた東京消防庁の特別救助隊。ここで1日も早く活動したかったので、高校卒業後すぐに入庁することに迷いはありませんでした。19歳で特別救助隊員になるための研修を修了し、22歳で特別救助隊員になりました。その後消防救助機動部隊での勤務も経験しました。消防救助機動部隊で勤務している際に、ヘリコプターのパイロットも当庁職員から育成していると知り、「挑みがいがある」と応募を決め、選抜試験などを経て副操縦士として勤務しています。入庁したときは、30歳になった自分がヘリコプターの操縦士になっているとは想像もしていませんでした。私はかなり特殊な例かもしれませんが、他にも色々な挑戦の機会があることが東京消防庁の大きな魅力だと感じます。

事務職員として 幅広い業務に挑戦

事務職員も目標を持って、やりたいことに挑戦できます。

中学生時代、私は消防官の活躍を目の当たりにして非常に感銘を受けました。そして公務員を目指し学んでいた専門学校で東京消防庁の事務職員を知り、災害現場の最前線で活躍する消防官を支える仕事がしたい、事務系のスキルを消防行政で活かしたいと思いました。現在は消防団員の活動を支える消防団課で庶務全般と旅費・手当の精算を担当しながら、総務課の広報業務を兼務しています。自ら希望して、消防音楽隊とともに東京消防庁をPRするカラーガーズ隊にも所属し、予防技術の認定や中国語研修など、次々やりたいことに挑戦しています。将来は予防業務にもっと深く関わってきたいため、上級予防技術の認定を目指し勉強中です。



防災部 消防団課 2013年入庁 関東地方出身

先輩たちの ONとOFF

消防官という生き方



東京に暮らす人々の平穏と安心のために、
己を高め続ける消防官たち。
日々の業務を全力で遂行するために、
重要なのは私生活とのバランスです。
すべては“挑み続け、守り続ける”ために。
先輩職員たちのオンオフをご紹介します。

(2018年4月現在データ)

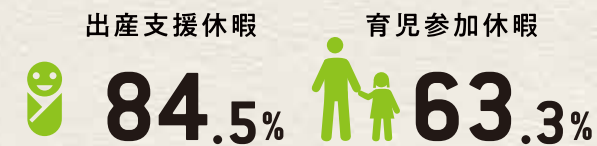
平均勤続状況

2007~2009年度に採用された職員の
10年後の継続勤務割合

男女共に離職率が低く、継続勤務できる環境があります。

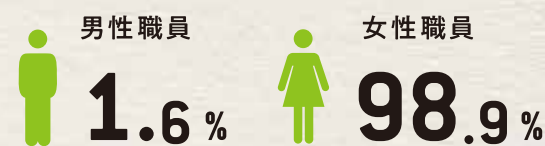


出産支援休暇・育児参加休暇取得率



男性職員が配偶者の出産にあたり取得できる休暇です。年度ごとに
出産支援休暇を85%以上、育児参加休暇を60%以上にすることを
目標としています。両休暇とも取得率は年々増加傾向にあり、引き続
き取得促進に取り組んでいます。

男女別育児休業取得率



女性職員の育児休業取得率は安定して98%以上を維持し、
男性の取得率についても年々上昇しています。

職員提案箱

入庁から概ね10年以内の若手職員の自由な発想を募集しています。
東京消防庁の施策や事業の方向性、都民サービスなどにおける反映を
目的としており、若手職員の成長や当庁の自律改革を推進しています。

職員相談制度

仕事やプライベートでの悩みを相談できる制度です。各所属
に1名職員相談員があり、職務内外を問わず相談ができます。
女性職員専門窓口や若手職員専用窓口も設けられており、安心
して相談できる環境が整っています。



警防部 総合指令室(多摩指令室)
2003年入庁 東北地方出身

ON
OFF

仕事も家庭も、1人の時間も
それぞれがバランス良く充実

指令室と他の消防本部などとの 情報共有を進める

私は現在、多摩指令室の管理係で、他の消防本部などの視察や意見
交換会の対応を主に担っています。この仕事で重要なのはスケジュ
ーリング。指令室員たちの通常業務にいかにか影響を与えず、どうすれば
外部との交流をより意義深いものにするかを常に考えています。

消防官の夫と家事を分担。 休日は子供のために電車三昧

当庁で交替制勤務をしている夫と、家事と子育てを分担していま
す。掃除・洗濯は主に夫、料理は私といった分担です。平日は子
供とあまり遊んであげられない分、休日は子供中心。4歳になる
息子は電車で夢中で、今では私も電車好きになり、色々な電車
を見るために出かけるのが家族の楽しみになっています。

1人になったときの気分転換は 普段はできない手の込んだ料理

夫と子供が出かけて1人になったときにやるのは、少し手の込んだ
料理。料理のことだけに集中するのは良い気分転換になりま
す。他にも同期や同僚の子育て仲間と、子供連れでも気兼ねな
く過ごせる店などに集まって、仕事や家庭について情報交換し
たり、相談し合うのも大切な時間です。

Career step これまでのキャリア



消防署 指揮隊員(伝令)
2014年入庁 北海道地方出身

ON
OFF

インラインホッケーの日本代表
仕事も趣味も自分の誇りです

指揮隊員(伝令)として隊員の安全を守る

ポンプ隊員として様々な火災に出場しました。その際に学んだの
が隊ごとの任務付与、役割分担の大切さです。災害現場におい
て広い視野で実態把握、状況判断を行い、出場している各隊に
指示・命令を出して災害現場を統制するのが指揮隊です。私は指
揮隊の伝令として、大隊長の命令を簡潔に伝えるなど、部隊の
安全な活動を支えています。

オン・オフ全力投球で日本代表選手に

私はインラインホッケーのクラブチームに所属しており、アイスホッ
ケーでも大学の監督として指導を行っているため、休日はホッケー中
心の生活です。仕事で鍛えた体力と精神力がインラインホッケーでも
好成績につながり、毎年日本代表選手に選出されています。

両立できる感謝の想いが相乗効果に

インラインホッケーで毎年10日間前後の海外遠征があります。業務
に支障のないよう計画的に休暇を取得できているのも、上司の理解
や仲間の応援があるからです。両立できることがさらにモチベーショ
ンとなり、仕事も趣味も全力で打ち込めています。

Career step これまでのキャリア



東京消防庁の主な業務



ポンプ隊
いち早く現場に駆けつけ、各隊と連携を取り消火・救助・危険排除等に当たります。救急の現場では救急隊と連携した活動も行います。



特別消火中隊
複雑・多様化する災害に対応するための部隊で、消火活動能力の高い隊員で編成されています。



救急隊
傷病者に適切な処置を行い、医療機関に搬送します。各隊には救急救命士が配置され、救急隊指導医の指示を受け、高度な処置を行います。



特別救助隊
高度な知識と専門技術、特殊な資器材を駆使し、火災や交通事故、自然災害などあらゆる災害で、救助を待つ人に手を差し伸べます。



指揮隊
災害の実態や被害状況を現場で把握し、出場部隊全体を指揮します。あらゆる情報から活動方針を決定し、被害を最小限にします。



はしご隊
高層階に取り残された人の救出や、高所からの放水を行います。はしごは下方向にも伸びるため、海などへ転落した人の救出もできます。



舟艇隊
東京湾沿岸に位置する3つの消防署に配置され、船舶を含む沿岸エリアの消火・救助活動、火災警戒などを行います。



化学機動中隊
危険物や毒劇物を含むNBC等を原因とする特殊災害現場での人命救助、漏れい拡散の防止、除染等の活動を行います。



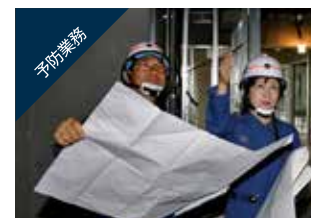
山岳救助隊
多摩地区の4つの消防署に配置され、滑落等の山岳事故に対応します。車両が進んでくれない危険な場所では航空隊等と連携します。



水難救助隊
人が溺れている、車が転落したなどの水難事故に対応。潜水器具により、水中での救助活動を行います。



消防活動二輪車
山岳事故や高速道路での火災・交通事故にいち早く対応。状況に応じて他車両に先行して出場するため救急の技術なども求められます。



消防同意・建物検査
消防同意制度により、建物の設計段階から防火に関する審査や指導。竣工後は検査を行い、より安全な建物づくりを推進しています。



防火査察
建物や店舗へ立ち入り、火災予防対策や消防用設備などの状況を検査。重大な法令違反には、警告や命令などの違反処理を行います。



防火・防災管理指導
事業所の防火・防災管理者の選任や、消防計画の作成などを指導しています。従業員などに対して自衛消防訓練の指導も実施します。



危険物規制
危険物施設を設置・改修する際の許可や完成検査、危険物流出等の事故発生時の原因究明、再発防止対策など、安全確保に努めています。



火災調査
火災原因調査、損害調査のほか、消防設備の作動・活用状況、延焼拡大の要因、避難状況などを調査して、各種消防施策に反映します。



震災対策
地震発生時に身を守ることを最優先とした行動や、負傷原因となる家具類の転倒防止対策の普及に努めるなど防災指導を推進しています。



地域防災
住まいの防火防災診断や住宅用防災機器等の設置促進を図っています。また日常の事故の対策指導や、防災福祉対策推進も重要な任務です。



防災指導
防災行動力向上のため、自治会や学校を中心に消火器や起震車などを用い、初期消火、身体防護、救出・救護などの指導を行います。



消防団
消防団が効果的に活動できる環境の整備、資器材の配置を行うとともに、災害に備えた活動訓練や防災訓練の指導等を実施しています。



消防広報
広報紙やポスター、インターネットを活用して正しい情報発信を行うとともに、都民の意見を収集し消防行政に反映しています。



企画調整部
重要事業計画の策定・進捗管理 / 組織整備 / 予算編成・決算 / 広報・広聴 / 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の消防対策



総務部
式典・行事等の運営 / 文書の審査・管理 / 法務 / 国際業務 / 各種契約 / 消防庁舎の設計・工事 / 情報通信設備の維持管理



カラーガーズ隊
女性職員で編成されており、東京消防出初式や各種行事等で華麗な演技を披露。多くの都民に親しまれています。



音楽隊
日本初の消防音楽隊として発足以来、「都民と消防のかけ橋」として、音楽を通じ防火・防災を呼びかけ、誰もが安心して過ごせる「セーフティ東京」の実現を推進しています。



人事部
人事管理 / 人事制度 / 委託研修 / 採用 / 表彰 / 勤務制度 / 給与 / 福利厚生 / 健康管理



警防部
消防戦術の立案 / 消防部隊の運用計画 / 災害現場指揮 / 救助活動体制の立案 / 消防隊員の技能管理 / 特殊災害の消防活動対策 / 災害通報の受付・出場指令



防災部
都民生活の安全対策 / 震災対策 / 防災に関する調査・研究 / 消防水利の整備 / 消防団の組織整備



救急部
救急施策の立案 / 救急医療機関との連携 / 救急相談 / 救急資器材管理 / 救急隊への指導 / 応急手当の普及



救急機動部隊
特定の消防署に属さない、本部直轄の部隊。高度な知識と技術力を持った精鋭が集められ、昼夜で拠点を変えて活動しています。



予防部
火災予防施策の立案 / 建物の防火安全対策 / 危険物施設の安全対策 / 防火査察 / 火災調査 / 事業所の防火・防災管理指導



装備部
消防車両・消防艇・機器等の整備 / 消防車両等の仕様の検討、仕様書の作成 / 制服・防火衣等の改良 / 機関員の技術指導



航空隊
8機の消防ヘリコプターを運航し、消火、救助、救急、情報収集を行うほか、国内で発生した大規模災害にも派遣されます。



装備工場
消防車両をはじめ、各種消防機械器具の性能や機能が十分に発揮できるように点検整備を実施しています。



消防学校
教育計画の立案 / 教材等の作成 / 新規採用者の教育 / 職員の業務研修



消防技術安全所
都民生活の安全化 / 災害活動の効率化・安全化 / 災害実態の分析把握 / 火災鑑定



消防方面本部
方面内の消防署に関連する消防業務の連絡及び調整 / 予防業務の指導 / 救急業務の指導 / 災害活動の指揮及び指導 / 消防特別警戒の指揮及び指導 / 消防訓練の指導



消防救助機動部隊
通称ハイパーレスキュー。卓越した技術・能力を持つ隊員と特殊車両で編成され、通常の部隊では対応が困難な現場で活躍します。

勤務体制

ポンプ隊、救急隊、特別救助隊など24時間体制で勤務にあたる交替制。
 週休2日制で勤務を行う毎日勤務。
 東京消防庁の消防官の2つの働き方を紹介します。

交替制勤務の一日の流れ(例)

災害対応にあたるポンプ隊や救急隊、特別救助隊などは「交替制勤務」の体制をとっています。

勤務時間 8:30~翌8:40 消防署では、3週間を1サイクルとして、三交替制で勤務します。週の平均勤務時間は38時間45分です。



大交替 当番日は大交替でスタート。人員の確認、資器材の点検を行い、前日の当番員から任務を引き継ぎます。

出場 出場指令があると素早く出場。消火・救助活動だけでなく、災害後には火災原因調査も行います。

訓練 毎当番行われる、はしごやロープを使ったさまざまな消防活動訓練。昼夜問わず迅速に活動できるように訓練に励みます。

体力錬成 訓練に加え、仲間と共に体力トレーニング。こうして強靱な身体とチームワークを育みます。

事務処理 総務、警防、予防などの担当事務を行います。出場報告書や、機関員であれば管轄区域の地図作りも大切な仕事です。

交替制勤務のサイクル

※21日を1サイクル
※日勤日の勤務時間は8:30~17:15

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
勤務種別	当番日	非番日	週休日	当番日	非番日	当番日	非番日	週休日	当番日	非番日	週休日	当番日	非番日	当番日	非番日	週休日	当番日	非番日	日勤日	週休日	週休日

毎日勤務(予防業務)の一日の流れ(例)

主に予防業務を担当する職員や本庁で勤務する職員は「毎日勤務」の体制をとっています。

勤務時間 8:30~17:15 勤務時間は週38時間45分で土・日曜日が休みの週休2日制です。



来庁者・電話対応 届出や申請、建物の新築・改修等に伴う事前相談に訪れる設計・施工業者への対応を行います。また、防災に関する問合せにも答えます。

事務処理 来庁者や電話の合間を縫って、届出関係の書類の審査・整理、検査の準備などのデスクワークを行います。

建物検査 建築工事中や工事完了後の建物に足を運び、防火に関する基準を満たしているかどうかを確認します。

防火査察 すでに使用されている建物へ立ち入り、消防設備の設置・維持管理の状態や避難経路の管理状況などを確認します。

防火・防災管理指導 建物の防火・防災管理者をはじめ、そこで働く従業員に対して、防火・防災対策や自衛消防訓練などの指導を行います。

毎日勤務のサイクル

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
勤務種別	勤務	勤務	勤務	勤務	勤務	週休日	週休日	勤務	勤務	勤務	勤務	勤務	週休日	週休日	勤務	勤務	勤務	勤務	勤務	週休日	週休日

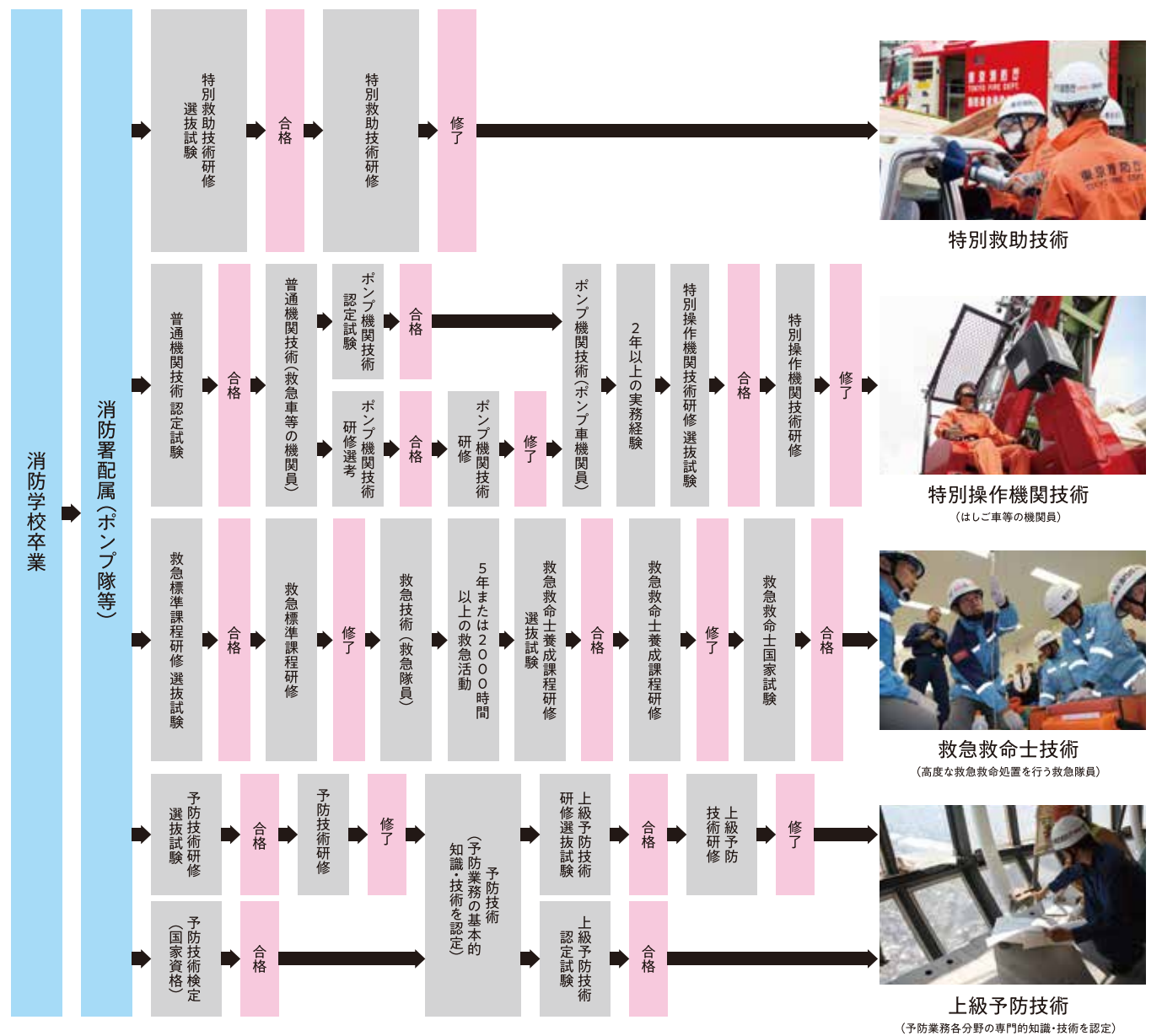
人事制度

消防官としての基礎的な知識・技術を身につけた後、
 実際の業務を通じて、自らの適性や希望に応じたキャリアを
 築き上げていくことができます。

職員の階級と職務

階級等	消防士	消防副士長	消防士長	消防司令補	消防司令	消防司令長	消防監	消防正監	消防副監	消防総監
職務	隊員		小隊長等	中隊長等	大隊長等					
職級(事務職員含む)	係員		副主任	主任	係長	副署長 課長	署長	消防学校長 技術安全所長 方面本部長	次長 部長	等 消防総監

主な庁内専門技術の取得例



消防学校ってどんなところ？

消防官として活躍する上で求められる様々な技術、知識を学ぶための消防学校。すべての消防官のスタートラインとなるこの学び舎は、一体どのような場所なのでしょう。



1 訓練棟

高層ビル火災や地下火災など様々なケースの訓練想定ができる実戦的訓練施設です。



2 模擬消火訓練施設(AFT)

火災や煙を発生させ、実際の火災現場と同じような状況下で訓練を行います。



3 教室

1クラス50名程度で学びます。設備などは一般的な学校と同等のイメージです。



4 救急実習室

救急車や救急資器材を実際に見て、触れて学びます。



5 CAI実習室

映像化された教材や当庁の総合情報処理システムが利用できます。



6 建築設備実習室

建築部材や模型を見ながら建物の構造などについての知識を深めます。



7 消火設備実習室

屋内消火栓やスプリンクラーなどを活用して、使用方法や仕組みを学びます。



8 体育館

体育や剣道などの授業を行います。課業終了後に自主トレーニングをすることもできます。



9 プール

最深5メートルにもなる可動床式屋内プールで、水難救助の訓練や体力トレーニングを行います。



10 食堂

一度に600名が利用可能。メニューは通常2種類の日替わりから選べ、訓練の合間の楽しみのひとつになっています。



11 売店

学校生活に欠かせない文具や書籍から、日用品やお菓子、さらには東京消防庁オリジナルグッズまで品揃え豊富です。

消防学校のカリキュラム

新たに採用された消防官は、全寮制の消防学校に入学し、消防官に求められるモラルやマナーをはじめ、消防行政に関する基礎的な知識や消防活動技術、強靱な体力・精神力を身につけるため、初任教育を受けます。

初任教育 消防業務の基礎を修得

主な教科目	座学(関係法令等)	座学(消防業務等)	実科
	法学基礎・消防法規、組織制度、倫理・サービス など	消防活動知識、防災、消防機械・ポンプ、危険物、建築・消防用設備 など	消火・救助・救急活動訓練、礼式、体育、実務研修 など
初任教育の流れ	約1年間		
	約6か月間	約6か月間	約1週間
	初任基礎教育課程 全寮制の消防学校に入学し、座学や実科の授業により、消防官としての基礎を身につけます。	初任実務教育課程 消防署に配属され、災害現場での活動や事務処理などの実務を通じて教育を受けます。	初任総合教育課程 課題研究発表などを行い、消防学校卒業となります。

※時期により期間が異なる場合があります。

消防学校のある1日

6:00	8:30	12:00	13:00	17:15	23:00
起床、点呼	清掃、食事、課業準備	午前始業 / 課業	昼食、休憩	午後始業	終業 / 自由時間
布団を畳んだらすぐ点呼に向かいます。校庭にクラス全員揃って整列します。	敷地内及び消防学校周囲の清掃。空き時間に体力トレーニングをする学生もいます。食事は管理栄養士が考えたメニューです。	消防官に必要な基礎知識、業務を行うための専門知識、消防官としての心構えなど、幅広く学びます。消火、救急、救助に関する様々な訓練や機器取扱い訓練を通じて、実戦的な技術を身につけます。			自由時間にもすることはたくさんあります。 ・自主訓練 ・体力トレーニング ・夕食、入浴 ・洗濯、アイロン掛け ・自習 など
		座学(関係法令等)・座学(消防業務等)・実科			

消防学校 Q&A

- Q 全寮制ですが外出や外泊はできますか？**

A 基本的には金曜日・祝前日の夜から外出・外泊が可能です。同期生と出かけたり、実家に戻ったりする学生もいます。外出・外泊する際は事前の届出が必要になります。
- Q 課業後や休日はどんなことをして過ごしているのですか？**

A 課業後は自由時間ですが、正服の洗濯やアイロン掛け、靴磨きなどの身支度を行ったり、自主訓練や体力トレーニング、課業の予復習を行ったりしています。休日は学校内で自主訓練等に励むこともあれば、買い物や食事に出かけるなどして過ごしています。
- Q 消防学校は厳しいと聞きますが具体的にどのような環境ですか？**

A 消防官として必要な素養を育てる最初の間です。時間や規則を守って行動することや、正服等の着こなし、髪型などについても教育を受けます。消防学校は職業訓練の場であり、給与をもらっているので訓練や座学も全力で取り組む必要があります。
- Q 寮部屋や寮生活はどのような雰囲気ですか？**

A 1つの部屋をパーテーションで6~8個に分けており、個人のスペースが確保されています。課業後の寮室ではみんなで話をしたり、訓練の復習しながらリラックスできる場です。正服などのアイロン掛けではアイロンの争奪戦が始まることもあります。
- Q 入庁前に取得すべき資格ややっておくべきことはありますか？**

A 取得しなければならない資格はありませんが、自動車運転免許や危険物取扱者、消防設備士などの資格は入庁後の業務にも活かすことができます。また、入庁後の訓練に耐えられる身体づくりをしておくことも必要です。

消防学校学生インタビュー

人々の命を守り、安全な暮らしの支えになりたいという志を持ち、東京消防庁に入庁した消防学校学生たち。そしてそんな未来の消防官を指導する教官に、消防学校での学びや思い出、魅力について語ってもらいました。



消防学校学生 2018年入庁
関東地方出身



消防学校学生 2018年入庁
関東地方出身



消防学校学生 2018年入庁
九州地方出身

東京をNBC災害から守るため 自分の専門性を発揮したい

私は大学時代、応用化学を専攻していました。放射性物質、化学物質、病原菌やウイルスなどが原因の特殊な「NBC災害」に興味があり、化学機動中隊や危険物火災を消火する化学車を持つ東京消防庁なら自分が学んだ専門知識を活かせると思い、志望しました。国際化が進む東京ではテロや事故など、NBC災害が起こる可能性も危惧されています。私はその未然防止や、もし起きてしまった場合は被害を最小限に食い止める、そんな仕事に挑戦したいです。消防学校は主に体力錬成の場だと思っていましたが、実際は知識を学ぶ座学やチームワーク、規律を養う礼式訓練など、様々なカリキュラムが組まれ、消防職員になるために必要なことを一から教わる場所だと感じました。教官は威厳の中にも親しみやすさがあり、消防官としてのあるべき姿も学びました。また、苦楽を共にできる最高の仲間ができました。

SCHOOL LIFE



8時半からの授業の開始前に、毎日清掃を実施します。こういった作業が良いコミュニケーション機会になります。



授業は1クラス50名。半年間、クラスメイトと一緒に学びます。映像授業や東京消防庁の総合情報処理システムを学ぶ実習室もあります。



毎日の厳しい訓練を乗り切るため、食堂では3食栄養バランスが良くボリュームたっぷりの食事を提供。メニューも定食から丼物までさまざま。



校内には売店があり、参考書や文房具、東京消防庁ならではのお土産が買えます。お菓子なども取り揃えています。



体力トレーニングで鍛える身体と精神力。半年間で懸垂の向上はもちろん、体力、筋力がつき、引き締まった身体づくりで自分に自信が持てるはず。



生活スペースである寮は、各室定員6〜8名。室内はパーテーションで間仕切りし、個人のスペースを確保しています。

弱い自分を克服できた半年間 将来は「防災業務」で活躍したい

私は専門学校を卒業後、市役所に5年間勤めた後、大学に編入しました。その後消火や救急だけでなく、災害による被害を未然に防ぐ「予防業務」や都民の防災行動力の向上を図る「防災安全業務」など、様々な業務で女性が活躍している東京消防庁に憧れて入庁しました。将来は地域防災力の向上に貢献できる消防官になりたいと思っています。消防学校では消防に必要な知識や技術だけでなく、尊敬できる教官や仲間と過ごす中でたくさんのことを学び、人として成長できた半年でした。厳しい訓練では「できない」と諦めモードになってしまったり、訓練の成果を発表する大舞台でパトリリーダーという大役を任せられたり、自分にとって「高い壁」がたくさんありましたが、乗り越えることができたのは、教官や仲間の励ましがあったからこそです。「やればできる」を実現して自信になりました。

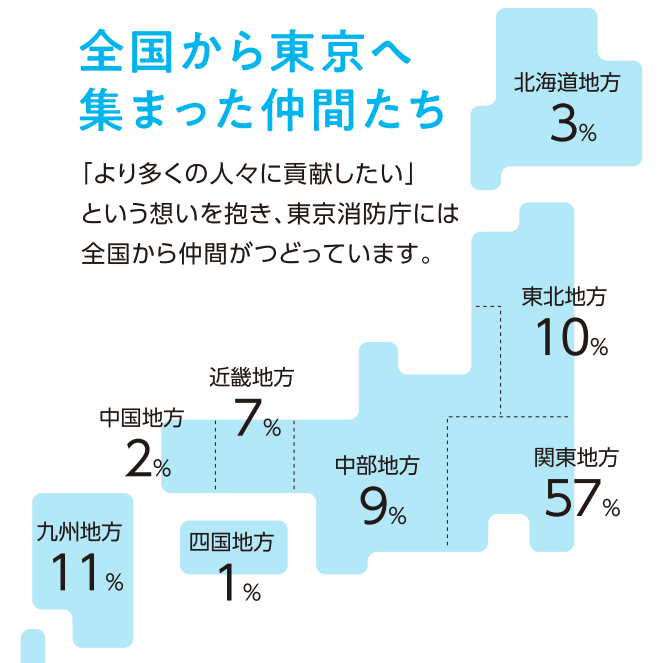
熱い心と諦めない強さを身につけ 特別救助隊員を目指します

消防団員だった父の活動を見て育ち、小学生の頃から将来の夢は消防官になることでした。東京消防庁の消防救助機動部隊が全国の大規模災害の現場に派遣されていることを知り、私も世界トップクラスの技術・装備を誇る東京消防庁の一員になりたいと思いました。実科訓練や座学はもちろん、実科訓練での失敗や悔しさを克服するための自主訓練を行ったり、教官方の経験談や教訓を聞いたり、有意義な時間を過ごしています。はじめは、高校を卒業したばかりで地方から入庁したため、馴染むことができるか不安でしたが、同年代にも地方出身者が多く、非常に心強かったです。休日は寮に残ったメンバーとスポーツ観戦に行ったり、実家が都内の同期の家に泊ってもらったりすることもあり、良い仲間にも恵まれ、充実した半年間となっています。

TOPICS

全国から東京へ 集まった仲間たち

「より多くの人々に貢献したい」という想いを抱き、東京消防庁には全国から仲間がとどっています。



消防学校教官 1997年入庁
関東地方出身

半年の間に心も身体も成長する 学生の将来が楽しみです

消防学校での指導に携わる人間は皆、消防官です。私も20年以上のキャリアがあり、私の持つ知識と経験を少しでも学生に伝えていきたいと思い指導しています。消防学校は消防官の業務の基本を学ぶ場です。頭で理解できているだけではなく、頭で考えずとも体が自然に動くまで訓練を行います。できないことは人より努力して克服しなければなりません。消防官は消防学校を卒業してからもずっと、各々の目標に向かって学び続ける職業です。そのためにも、消防学校で自ら学び、訓練する習慣を身につけます。消防学校の半年間で、表情、動作、身だしなみ全てにおいて、大きく成長する学生たちを見るのが本当に楽しみです。

研修制度

消防の進化を支えるためには、一人ひとりがプロフェッショナルとして力を伸ばし、活躍することが期待されます。東京消防庁には、成長をバックアップするための様々な研修制度が用意されています。

庁内研修で学ぶ

高度な専門性を要する業務に必要な知識と技術の習得を目的とした研修です。

- 特別救助技術研修 ▶ 特別救助隊員
- 水難救助技術研修 ▶ 水難救助隊員
- 化学災害技術研修 ▶ 化学機動中隊員
- ポンプ機関技術研修 ▶ ポンプ車機関員
- 特別操作機関技術研修 ▶ 特別操作機関員
- 機動二輪活動技術研修 ▶ 消防活動二輪車先行員
- 救急標準課程研修 ▶ 救急隊員
- 救急救命士養成課程研修 ▶ 救急救命士
- 救急救命士処置拡大(低血糖・ショック)特別研修 など

外部研修機関で学ぶ

外部教育機関への委託研修で業務に必要な専門知識と技術を身につけます。

- 大型自動車免許取得委託研修 ▶ 大型自動車運転免許の取得
- 緊急自動車運転技能向上委託研修 ▶ 機関員の安全運転に係る知識・技術の習得
- 英語対応救急隊育成研修 ▶ 救急隊員の英語対応力等の向上
- 海技従事者養成委託研修 ▶ 航海士・機関士の養成
- 航空従事者養成委託研修 ▶ 回転翼航空機操縦士・航空整備士の養成
- 支援デブリーファ-養成委託研修 ▶ 惨事ストレス対応職員の養成 など

大学院や研究機関で学ぶ

消防行政に活かすことを目的に大学院研究室などで先端的な学術知識を修得します。

- 首都大学東京大学院 都市環境科学研究科
 - 政策研究大学院大学 政策研究科 公共政策プログラム
 - 筑波大学大学院 システム情報工学研究科 人間総合科学研究科
 - 東京理科大学大学院 理工学研究科
 - 電気通信大学大学院 情報理工学研究科
 - 横浜国立大学大学院 環境情報学府
 - 国立研究開発法人 防災科学技術研究所
 - 株式会社三菱総合研究所
 - 総務省 消防庁 消防大学校 消防研究センター
 - 大学医学部付属病院 など
- ※各研修受講には、実務経験や年齢等の要件があります。

大学等 委託研修生



防災部 震災対策課 2014年入庁 中部地方出身

病院 委託研修生



救急部 救急管理課 2013年入庁 関東地方出身

委託研修のきっかけ

防災を専門とする「防災部」。そこで働きたい一心で、東京消防庁に入庁。

中学1年生のとき、私は新潟県中越地震で被災しました。その経験から自然災害による被害を事前に防ぐ「防災」に興味を持った私は「防災を学びたい」と進学先を決め、「防災部で働きたい」と東京消防庁を目指しました。最近地球の異常気象により風水害の発生危険も高まっています。「大学で学んだ知識だけでは、とても希望する防災部では活躍できない」と思い、入庁3年目で大学等委託研修制度に挑戦しました。

受講内容

テーマは首都直下地震。地震火災から人々を守るため、強い使命感で学んでいます。

現在、筑波大学大学院の都市防災研究室に派遣されています。1年生の前期は地震や火災をはじめ水害、雪害、原子力災害、津波災害など幅広い分野の知識を深めました。後期からの専門分野の研究課題は、首都直下地震に備え、都内の住宅密集地が火災になった場合の対応策など「都市の地震火災」です。事例も少なく参考文献も古く苦労していますが、今の東京都になくてはならないテーマだと考えています。

どのように実務に活かしますか？

防災のプロフェッショナルとなり、国や東京都、区市町村と連携した、防災対策をつくっていきます。

まだ2年間の研修途中ですが、集大成となる研究論文はやはり、首都直下地震対策において役立つものにするのが目標です。また、防災対策は東京消防庁だけでなく、国や東京都、区市町村との一体的な取り組みが必要です。今後、他の機関に向向して経験を積みたてずし、私自身が防災のプロとして、東京消防庁と各関係機関が円滑に連携する防災業務に挑戦していきたいです。

委託研修のきっかけ

上司の後押しで、一年間にも及ぶ病院内での委託研修を決断しました。

大学病院の救命センターでの委託研修は、以前上司が勧めてくれました。救急隊員は、基本的に救急外来で傷病者を病院に引き継ぎます。しかし、今の委託研修では普段の活動だけでは知り得ない傷病者を引き継いだ後の病院内のことを学ぶことができます。入院後の患者さんの経過や、カンファレンスにも参加できる機会があり、今後の救急活動に活かせることがたくさんあります。

委託現場での研修内容

新しい技術を学ぶために、実践での研修を行っています。

研修では、救命救急センターに搬送されてきた傷病者に対し、医師や看護師の治療サポートを行いながら救急医療に関する知識や技術を学んでいます。また救急救命士でなければ行えない「気管挿管」の処置ができるように実習を行います。

どのように実務に活かしますか？

将来の目標は、救急隊長。得た知識や経験を活かして、さらに上を目指していきたい。

現場と病院内の両方を知ることで、今後の救急活動がよりスムーズに行えると思います。現在は様々な患者さんを看ながら、「この症例に自分が現場で遭遇した時はどういう活動をするのか」を常にイメージしています。研修期間中に得た貴重な知識や経験を活かして、指導的立場の救急救命士になれるよう、努力していきたいです。

給与・福利厚生等

給与

区分	給与(採用時)
専門系採用者	約260,100円
I類採用者	約252,100円
II類採用者	約231,700円
III類採用者	約212,700円

※この初任給は、2019年1月1日現在の給料月額に地域手当を加えたものです。
 なお、採用前に給与改定があった場合はその定めるところによります。
 ※上記の他、期末・勤続手当、扶養手当、住居手当、通勤手当等の制度があります。
 ※大学院修了者及び採用前に職歴を有する人は、一定の基準により加算される場合があります。

育児のための勤務制度

職員が仕事と子育ての両立ができるよう、各種制度を整えています。下記以外にも、出産支援休暇、育児時間、育児参加休暇、子どもの看護休暇などがあります。

妊娠出産休暇	妊娠中や出産を通じて16週間以内の休暇があります。
育児休業	養育のため、子どもが3歳になるまで休業することができます。
部分休業	養育のため、子どもが小学校に就学するまで勤務時間の始め又は終わりにおいて、1日につき2時間以内で休業することができます。
育児短時間勤務	仕事と育児の両立のため、子どもが小学校に就学するまで1週間あたりの勤務時間を短くすることができます。

休日・休暇

毎日勤務の場合は、勤務時間は8時30分から17時15分までで、土日が休みです。交替制勤務の場合は、勤務時間は8時30分から翌日8時40分までで、原則として4週間に8日の休みがあります。また、1年間に20日の年次有給休暇が付与され、この他にも、慶弔休暇、夏季休暇、ボランティア休暇、長期連続休暇などの休暇制度があります。

福利厚生施設等

東京都の職員として、東京都職員共済組合の施設のほか、湯河原・那須にある保養施設の利用が可能です。また、結婚、疾病、家族の就学等に関する給付事業や保養施設の利用助成等、充実した福利厚生制度となっています。

悩みの相談

職場内外における、職員が抱える悩みに対しては、複数の相談窓口を用意し、悩みを早い段階で解消するためのバックアップ体制を整えています。また、悲惨な災害現場活動において受けた精神的ショック等に対する惨事ストレス対策も積極的に行っています。

職員待機宿舎



震災等大災害が発生した場合の初動態勢に必要な人員を確保するための単身待機宿舎は都内約80カ所にあり、消防学校修了後は原則として入居することが義務付けられています。その他、家族を有する職員が入居する家族待機宿舎は都内約160カ所に整備されています。

全職員・家族を対象としたイベント

毎年、4つの大きなイベントを開催しています。家族も含めて、すべての参加者が楽しめるように運営されています。



剣道大会
 同じ消防署の職員などで構成したチームで優勝を目指す伝統ある大会です。稽古を通じ職員間の絆が深まります。近年では若手限定部門も創設されています。



職員・家族総合文化展
 文化部会が中心となって3日間にわたり開催されています。職員だけでなく家族も出品することができ、様々な分野の教養が深まります。



総合中央競技大会
 体育部会が中心となって様々な競技大会が開催されます。駒沢オリンピック公園や東京辰巳国際水泳場など、本格的な競技場で、目一杯楽しめる大会です。



駅伝・ロードレース大会
 最も多くの職員が参加するスポーツイベントです。同じ消防署の職員同士で一本の襪をつなぐ駅伝や親子で参加することができるロードレースなどを行っています。

クラブ活動

東京消防庁には、クラブ活動を行う様々な部会があります。平日・休日を問わず、年間を通じて、多くの職員が積極的に参加し、同じ趣味の仲間と充実した日々を過ごしています。



クラブ一覧			
体育部会 (24部会)		文化部会 (18部会)	
野球	弓道	書道	アマチュア無線
陸上競技	サッカー	華道	版画
テニス	ボウリング	絵画	東京救助救急研究
卓球	居合道	囲碁	化学災害技術研究
山岳	剣道	将棋	都市防災研究
バレーボール	ラグビー	写真	東京予防技術研究
柔道	トライアスロン	奇術	惨事ストレス研究
バスケットボール	綱引	麻雀	ボランティア
水泳	自転車	釣魚	
バドミントン	ライフセービング	軽音楽	
スキー	バイク		
ゴルフ	サーフィン		

クラブ賞歴一覧
卓球部会 第21回全国消防職員卓球大会 優勝(2連覇)
バスケットボール部会 第38回全国官公庁バスケットボール選手権大会 優勝(2連覇)
剣道部会 第6回全国消防職員剣道大会 優勝(6連覇)
ラグビー部会 第44回全国消防親善ラグビー大会 優勝(9連覇)
ライフセービング部会 第44回全日本ライフセービング選手権大会 ビーチスプリントの部 第2位 ビーチフラッグスの部 第3位
将棋部会 第112回職域団体対抗将棋大会 D級 第3位

※主なものを選択しています。
 ※この他にも多数の体育部会・文化部会の各部会が実績を挙げています。

東京消防庁 消防署体験について

東京消防庁は消防署体験を実施し、皆様の知らない消防署の仕事の意外な一面をお伝えします。消防署の仕事を知りたい、消防署と自分との接点を探したい、公務員に興味がある。まずは些細な理由から構いませんので是非ご参加ください。

募集条件

高校生~29歳。
 東京消防庁での就業経験がない方を対象とします。

詳細は特設サイトにてご確認ください。
<http://tfd-saiyo.jp/taiken/>



主に学べること (※詳細は消防署により異なります)

消防署見学

訓練施設や事務室
 消防車や資器材についてなど
 消防署ならではの施設や装備
 を見ることができます。

業務体験

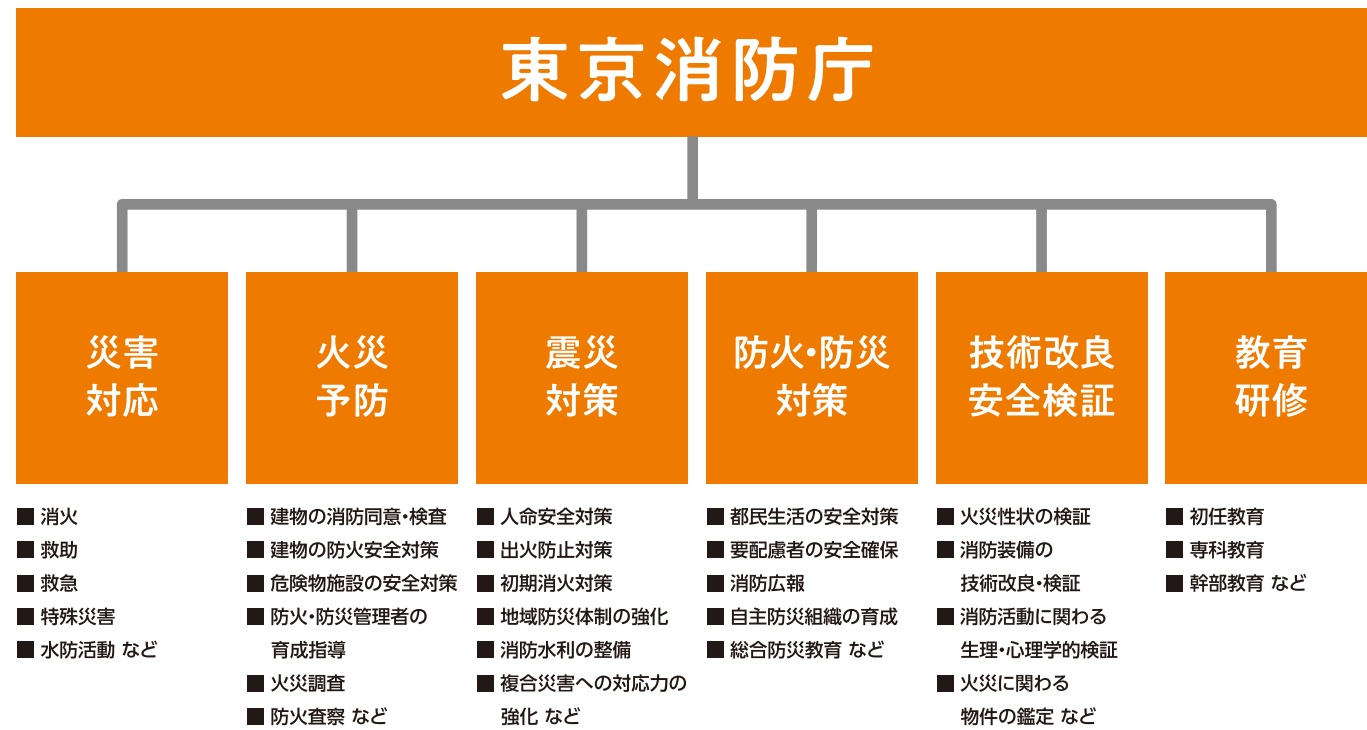
訓練見学や防火衣装着など
 消防署ごとに異なった業務体験を行うことが可能です。
 実際の業務に触れることで、
 仕事の雰囲気を感じてください。

先輩消防官の話

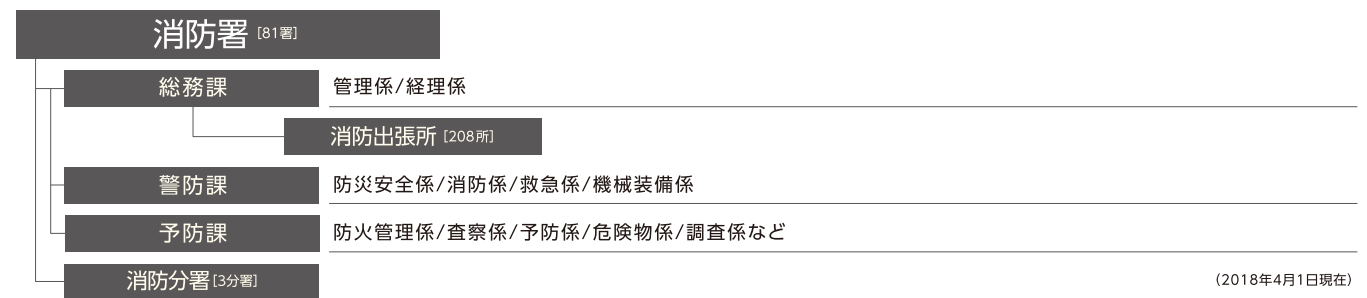
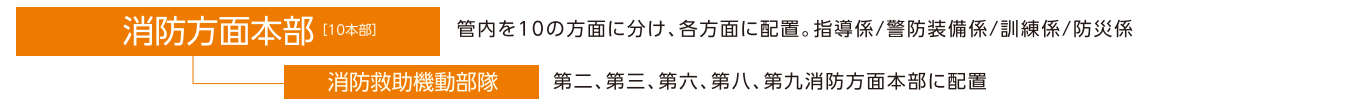
様々なキャリア、職種の方の話を聞くことができます。
 理系の知識が活かせる、最前線で活躍している女性がいる等、
 意外な驚きもあるかもしれません。
 自分の気になっていることを質問してみましょう。

過去の採用試験の状況について

採用試験における試験区分や受験資格、
 採用予定者数などについて説明します。
 先輩消防官が、どのように試験対策をしていたか
 聞くことのできるチャンスです。

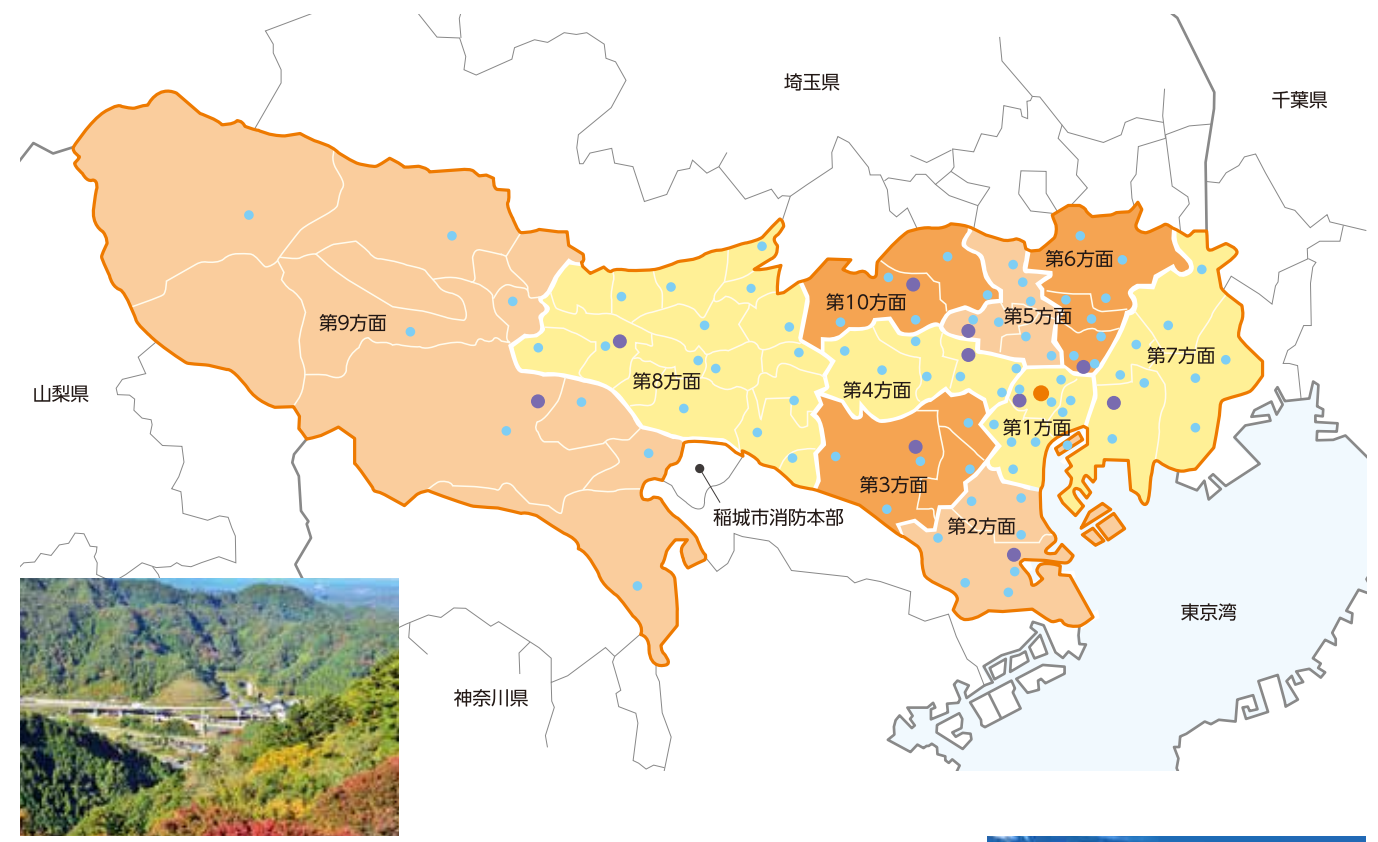


組織図



管轄区域

- 東京消防庁本部
- 消防方面本部
- 消防署



山間部

東京と一口に言っても、西側に目を向けると緑深い山々が広がり、多くの行楽客が訪れます。高尾山などの登山や多摩地域でのキャンプなど、人々の楽しいイベントでの万が一の事態に備えて、万全の体制を整えています。

都市部

世界有数の大都市である東京。高層マンションや商業施設がめまぐるしい勢いで建設されています。その反面、災害のリスクが高まっているのも事実。街の成長とともに、消防力の進化も求められています。



沿岸部

東京湾に面した沿岸部では、高層マンションやコンビナートなどが立ち並び、水難事故や火災発生リスクをばらんでいます。街中の活動とは異なり、海上という特殊な環境下でも人命救助を全うするために、東京消防庁では特別な組織や資器材を有しています。



災害発生件数 (2018年中の速報値)

119番等受付件数	1,552,469件
火災発生件数	3,970件
救急出場件数	818,100件
救助活動件数	23,229件

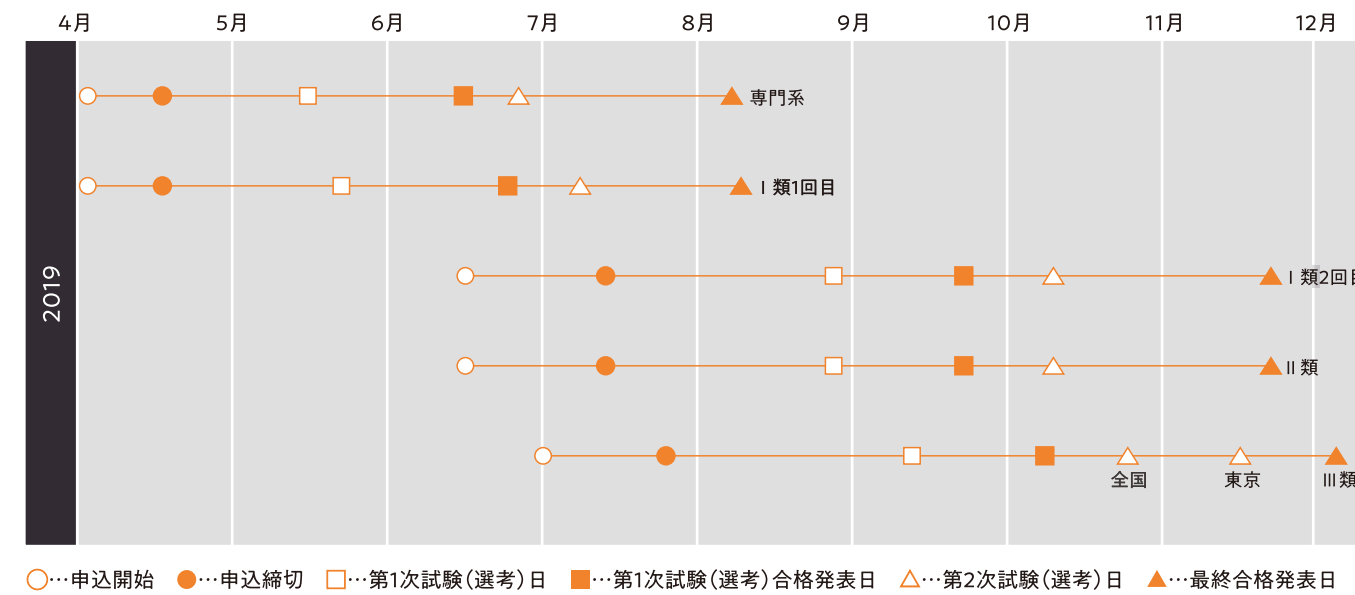
職員・拠点・車両等の数 (2018年4月1日現在)

消防職員		消防拠点	
18,502人	303カ所	消防本部 1	消防方面本部 10
		消防署 81	消防分署 3
		消防出張所 208	
消防車両等		ポンプ車	
1,977台	489	救急車 253	救助車 29
	86	化学車 48	特殊災害対策車 18
	6	消防活動二輪車 20	消防艇 10
	7	(ほか 運航受託機1)	等

募集要項

2019年度の採用スケジュール

※2019年度の採用スケジュールは予定です。(詳細は2019年2月下旬に公表します)
※最終合格発表後、就職に関する意向聴取を行う予定です。



受験資格等

※受験資格は予定です。(詳細は2019年2月下旬に公表します)
※専門系には、法律、建築、電気、電子・通信、化学、物理、土木、機械の専門区分があります。

採用区分	受験資格
専門系	1990年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法に基づく大学(短期大学を除く)を卒業している人(2020年3月卒業見込みの人を含む)又は同等の資格を有する人
I類	1990年4月2日から1998年4月1日までに生まれた人 又は1998年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法に基づく大学(短期大学を除く)を卒業している人(2020年3月卒業見込みの人を含む)又は同等の資格を有する人
II類	1990年4月2日から2000年4月1日までに生まれた人
III類	1998年4月2日から2002年4月1日までに生まれた人

試験方法

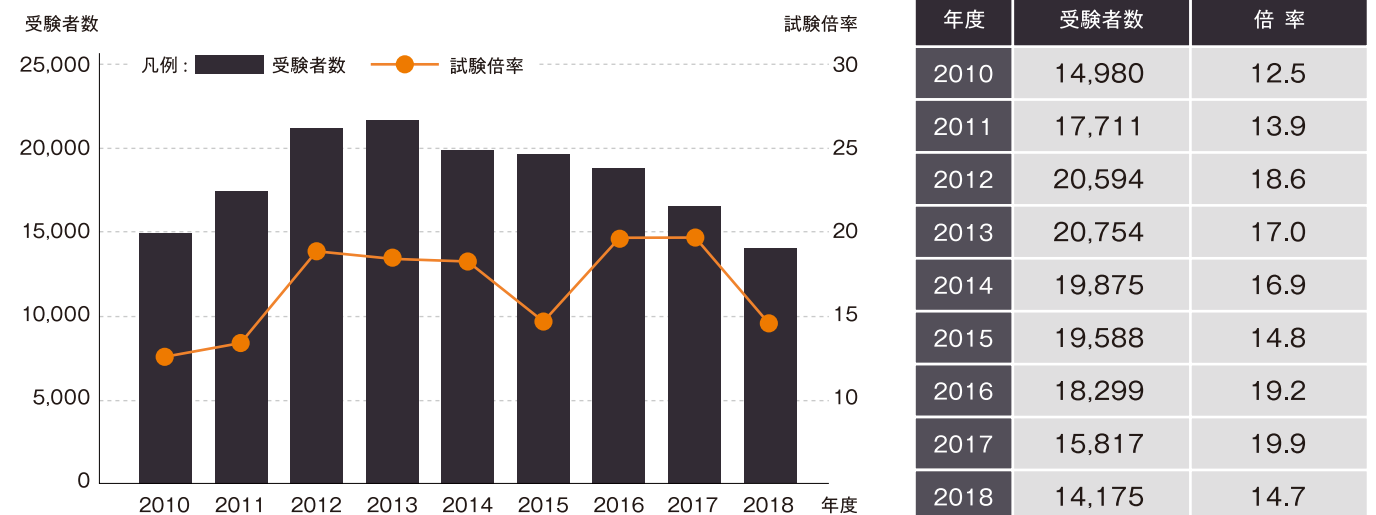
※本表は2018年度の実施内容であり、2019年度の試験内容は2019年2月下旬に公表予定です。
※専門系については、下記に加え第1次選考で、各専門区分の基礎知識について記述式の筆記試験を行います。
また、第2次選考では個人面接に加え、集団討論を行います。詳細は、採用選考案内をご確認ください。

	科目	内容	
第1次試験	教養試験	五肢択一式(45問出題)	2時間
	論(作)文試験	800字以上1,200字程度	1時間30分
	適性検査	消防官としての適性について検査します。(専門系は第2次選考で実施します。)	
第2次試験	身体・体力検査	1km走、反復横とび、上体起こし、立ち幅とび、長座体前屈、握力、腕立て伏せなど	
	口述試験	個人面接を行います。	

2018年度採用試験実施状況

試験区分	採用予定者数	第1次試験		第2次試験		倍率(A/B)
		受験者数(A)	合格者数	受験者数	合格者数(B)	
専門系	10名	58	37	31	9	6.4
I類	1回目	250名	4,572	1,207	407	11.2
	2回目	50名	1,471	221	58	25.4
II類	80名	1,574	415	327	121	13.0
III類	230名	6,500	885	641	368	17.7
合計	620名	14,175	2,765	2,214	963	14.7

受験者数と試験倍率の推移



採用試験の申込み方法

インターネット	東京消防庁ホームページの「採用案内」にアクセスし、画面の指示に従って入力後、送信してください。
郵送	受験申込書に記入のうえ、簡易書留で郵送してください。

※受験資格や申込受付期間などについては採用試験(選考)案内をご覧ください。
※受験申込書と各採用試験(選考)案内は、東京消防庁本部庁舎、東京消防庁管内の各消防署及び都庁案内コーナーで配布するほか、郵送でお取り寄せいただくこともできます。

採用について

合格者は採用候補者名簿に登録され、意向聴取、受験資格の確認等を経て、原則として2020年4月以降、欠員に応じて採用されます。ただし、欠員の状況により、2020年4月以前に採用される場合もあります。

資格・経歴評価

- 2018年度採用試験から「資格・経歴評価」を導入しています。
- 東京消防庁で活かせる資格やスポーツ等の経歴を採用試験(選考)で公平に評価します。
- 詳しくは採用案内または採用情報サイトをご確認ください。